



令和元年度以来、4年ぶりの参集とWEBのハイブリット形式での開催となりました。今回は、1月の開催となり、新入大会シーズンで参加が難しい状況での開催となり参加人数が心配されましたが、多くの先生方に参加していただきました。佐藤先生には久しぶりに沖縄に来県していただき、最新の情報提供をしていただきました。

今回は、県教育委員会の体育スポーツ推進指定校の南城市立船越小学校の実践報告と佐藤先生による『個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践』についての情報提供やワークショップを通して学びを深めていきました。体育・保健体育の授業づくりにどっぴりとつかった4時間でした！

### 1 「運動の楽しさを味わい、自己や集団の課題に進んで取り組む児童の育成」 について

まずはじめに、県教育委員会の体育スポーツ推進指定校で小学校体育専科配置校の、南城市立船越小学校の城間盛覚先生より指定校2年目の取組についての実践報告がありました。報告では、小学校2年生のボールゲーム「ながればしゲーム」や小学校5年生のネット型「ソフトバレーボール」、6年生のボースボール型「ソフトボール（ティーボール）」の実践を報告してもらいました。教材・教具や場づくり、学習カード等、様々な工夫があり中・高の校種でも参考になるような工夫でした。また、技能以外の「できる」を評価する工夫として、①仲間を大切に「できる」②仲間を支えることが「できる」③用具を大切に扱うことが「できる」④安全に気をつけることが「できる」の4項目の「できる」についての評価の工夫も紹介されていました。



2年目の成果として、新体力テストの全国平均以上の項目が年々増加し、「体育の授業が楽しい」・「やや楽しい」と回答した児童が90%と全体的に体育の学習に対して好意的な感情を持っていること。課題としては、「集団の課題から個人の課題を形成するための手立て」、「保健領域と関連を図った指導」などが挙げられていました。

次年度が研究指定校最終年次となり、今年度の課題を踏まえた研究報告があると思いますので、多くの校種の先生方に実践報告会に参加していただきたいです。



### 2 「個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践」情報提供及びワークショップ

まず、佐藤先生から「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具体的な実践について情報提供をしていただきました。情報提供では、「GIGAスクール構想の全体構想」から「個別最適な学び」の充実に向けた「ツールとしてのICT活用」の最新の情報提供があり、「ICTを活用した授業支援」や「ドローンを活用した実践」など様々な情報提供がありICT活用の新たな発見となる内容でした。

ワークショップでは県内外の様々な校種の先生方を4～5名の6グループに分け、「ユニバーサルデザインの授業づくり」について各グループごとに領域を選択し、4つの活用方法等についてグループワークを行いました。各グループから出た意見等について、代表者から共有が図られ、県内外の先生方との授業実践や交流も深めながら、あっという間に時間が過ぎていました。



### 3 最後に

最後に、それぞれの班の発表内容について佐藤先生から講評をいただき、本研究会を締めくくりました。久しぶりの参集とハイブリット開催で活発な意見交換ができ、今後の体育・保健体育の授業のさらなる充実が期待できることを感じました。引き続き、体育の価値を高めていくために頑張っていきたいと感じることができた「おきなわシーサーラウンド」でした。